

社会福祉法人 慈愛園
慈愛園子供ホーム 園長 緒方 健一

1. 全般的な施設運営について

(1) 熊本地震対応について

平成 28 年度は、冒頭に熊本地震に見舞われ、これまで想定していない施設運営を迫られた。現在のところハード面における課題はほぼ解決されており、心配された子どもたちのメンタル面の課題も安定傾向にある。

熊本地震への対応では、震災直後より県内外から多くの金品による支援や励ましのメッセージをいただいた。また多くの訪問があり子ども職員共々大いに元気づけられた。一方では、児童センターを物資受入の拠点として活用し、地元小学校避難所等への支援、校区内の独居高齢者や乳幼児への支援などで活用された。

子供ホームを挙げて避難所支援にも出かけた。法人の理念、子供ホームの基本方針を具体的に展開することができ、子どもたちの育ちにも好影響をもたらした。この様子は報道を通して全国にも発信されることになり、子供ホームの社会的な役割を存分に発揮できたと確信している。

震災を経験したことから、改めて安全管理・危機管理体制の見直しを図った。

(2) 施設管理運営について

28 年度から基幹的職員を配置した。スーパービジョンや部署間の連携、情報共有に課題は残ったものの、施設の全般的な管理運営面、児童支援の要としての役割を担っていただいた。

28 年度は社会的養護第三者評価を受審した。理念や基本方針の職員への周知、保護者や子どもへの周知についての課題や職員との面接、子どもの意見聴取などについて課題が示された。子どもへの支援、保護者への支援、関係機関との連携、地域福祉には高い評価を得た。第三者評価を受審しない年は、自己評価を行うことになっているが、その結果を公表することも義務づけられた。

PDCA サイクルの確立という課題については、全体の管理運営について、また各ホーム、専門委員会、各部門についての年間の総括をきめ細かく行うことが出来て、次年度に備えることができた。特に支援のチェック機能を高めることが次年度の課題である。

よい子ども支援には、よい大人の間人関係が大切であることを自覚し、職員交流係を中心にスポーツや懇親会等の計画、また法人内施設間の研修や交流の場を作り、成果が見られている。また施設長による職員個別面接を実施し、職員個々の成長課題を明確にし、支持的な対応に心がけてきた。ちなみに年度末の退職者はゼロであった。

朝の礼拝、申し送り、報告、連絡、相談の徹底を目指したが、連絡が行き届かないホームもあり、次年度の課題としたい。

下半期から、施設長のホーム巡回を開始。ホームの環境面の点検、職員の勤務の状況、子どもと職員への声かけを行っている。また、入所している子ども全員のバースデーカードを作成している。

(3) 子ども支援について

入所児童の多様化に備え、アセスメント力の強化が必要であり、園内 LAN が整備されたことから支援システム導入への目処が立ち、29 年度中に導入を図ることになった。

子どもの生活支援を充実させるために、マニュアルの整備を行ってきたが、実施状況のチェックや検証が不足している。特にホーム環境を整えること、整理整頓や清潔を保持することなどが課題としてある。基本的な生活習慣が身につけていない子どもが増えていることから具体的な支援プランが求められる。

28 年度からの試みとしてセンター調理とホーム調理を併用して実施した。より家庭的な営みを体験し、子どもたちが「食」への関心を高めていくことを目標とした。

当園では病児ルームを開設しており、看護師が運用をしている。子どもの通院や健康診断、健康管理を担っているが、次年度の支援システム導入にあたり情報を整理し、ケアワーク業務との連携を強化したい。

2. 中長期計画について

当園最初の試みである地域小規模児童養護施設「アンディホーム」を開設。

総定員を 75 名（本体 69 名、地域小規模 6 名）とした。今後、引き続き定員の減少を図る計画であるが、社会的養護の受け皿が不足している現状から困難が予想される。

平成 30 年度に地域小規模児童養護施設の 2 件目を考慮中であるが、震災の影響もあるため適当な物件が確保可能か状況を見ている。

3. 委員会活動について

4 つの委員会活動の活性化を目指した。それぞれの委員会の総括が行われている。

- (1) くらし向上委員会
- (2) 自立支援委員会
- (3) 安全安心委員会
- (4) クローバーの会（性・生教育委員会）

4. 各部門の総括

以下の部門について年間の振り返りを行い、29 年度の活動方針、計画を策定している。

各ホーム支援部門・家庭支援専門相談員・里親支援専門相談員
心理担当職員・医療担当職員（看護師）・給食担当（栄養士）・指導員

5 職員研修について

年間計画を策定し、多くの職員を経験や実績に応じて、県内外の研修に派遣した。職員数が増加したことで研修費がかさんだが、子ども支援の充実と共に職員の成長が達成できた。研修課題は子ども支援に加え、震災後の子どものケアも加わることで一層多様化している。

昨年は県養護協議会主催による被措置児童等虐待防止研修会が、県内児童養護施設勤務の全職員を対象に慈愛園パウラスホームを会場として開催され、当園からも非常勤職員も含め全職員が参加した。

子ども支援の充実、職員の育ちを支えるための管理職研修が法人主催で開催され、当園から5名参加した。

6 支援状況について

(1) 入所・退所・アフターケアについて

平成28年度は10名（県5、市5）の児童を受け入れた。また、ケアワーク職員、各専門職員連携のもと、県及び市の児童相談所とも連携を図り、親子関係の強化と改善を図り、4名の児童が家庭復帰をした。また、里親支援専門相談員が配置され、28年度末に2名が里親委託となった。年度途中で1名が全日制から通信制の高校への転学があった。高校卒業後の就職が2名、専門学校進学が1名であった。平成27年度から設けた自立支援委員会により、卒園後2年間の支援体制を構築した。併せてアフターケアで成人後も就労支援を継続している卒園者が数名いる。課題のある卒園者については、在園中関わりのあった職員を担当者としてアフターケアを継続していくことにしている。

(2) 職員の勤務体制について

28年度は配置基準の改正や新規事業によって大幅な職員増が実現した。震災時には子どものケアを最優先にした支援体制を図った。当園に対して県外施設から支援の申出があったが、職員体制も影響がなかったため受入はしなかった。

また通勤制の併用を可能にして2名の職員が住み込みから通勤に移行した。

ホームの構成が、中舎4棟、小規模グループケア2棟、地域小規模1棟と集団規模が違い職員の勤務も多様になったことから、子ども、職員に不公平感が生ずることも推察されるため、勤務の在り方については随時協議をしながら進めてきた。

事務所機能を高めるために、土日については事務所日直を配置、子ども、保護者対応、電話や来客対応、配送受領などの業務を行った。

毎年、職員健康診断を行っているが再検査や治療が徹底されていないことがあった。

29年度に安全衛生推進者、職業ストレスチェック制度担当者として看護師が就任する。

(3) 子どもの権利擁護

苦情解決第三者委員会は4回を計画したが、震災のために3回になった。3名の委員は、サービス向上委員を兼務していただき、園内環境、ホーム支援への意見具申をお願いした。意見箱の内容と改善についても報告を行った。また、子どもたちとの食事や行事参加を積極的に図った。

28年度の苦情受付件数は、大半が意見箱によるもので13件である。要望も含まれており、無線LAN利用や門限については改善を図った。また小4以上の児童については個別の意見聴取、意向確認の機会を設けた。

子どもたちからの要望を受け、ホームにLANの敷設を行った。子どもたちと協議し、ルールを決めて端末の利用を開放した。

軽微であったが被措置児童虐待事案が1件発生。監査にて聴取の徹底と理事会への報告について指摘があり、即刻対応を図った。

職員、児童の夜間の安全確保、また児童の通信手段としてホーム携帯を活用してい

る。連絡や情報の共有化を図るためにメーリングリストを契約している。

(4) ホーム調理の導入

28年度は給食職員新人3名を新たに採用して、栄養士の指導の下、ホーム調理を導入した。子どもたちの「食」への関心を高め、家庭的な雰囲気を経験してもらうことを目的にした。共同調理との併用ではあったが、ホームの調理場や冷蔵庫などの整理整頓と衛生管理が徹底されたこと。残食の把握と共に、子どもたちとの会話から献立へのヒントを得ることも出来て給食職員へのメリットも多かったこと。子どもたちにとっても夕食の匂いが漂うことや目の前で調理場面を見る経験ができて明らかに関心が高まったこと、お手伝いをする子どもが出てきたことなど効果が認められた。

(5) 心理担当職員の複数配置

28年度より心理担当職員を2名とした。震災後の子どもたちの心のケアに効果的であった。子どもの心理相談の充実が図られると共に、生活支援の充実に繋がった。

(心理対象児童 21名)

児童相談所や教育機関また小児精神科受診の児童の増加に伴い、医療機関との連携と情報共有に努めることができた。熊本県性教育研究会にも参加し、ケアワーカーや医療担当職員と共に「クローバーの会」（性・生教育委員会）の設立に貢献した。

(6) 地域との交流

地域の各種団体と連携し、地域福祉向上と地域と園との有機的な交流のための具体的な行事を計画し、地域福祉に寄与した。(校区独居老人昼食会、校区おせち宅配、シルバー独身者ひなまつり会等)、さらに校区の地域福祉ネットワーク「ほっとネット砂取」への参画を行った。

震災支援について子供ホームとして全面的な協力体制をとった。避難所支援をはじめ、校区の団体と協力し乳幼児、独居高齢者の支援も展開した。また、アンディホーム開設に際して1町内自治会の全面的な協力を得ることができた。

(7) 自立支援、社会体験の充実

月ごとに様々な行事等を取り入れ、児童間の交流と児童と職員との信頼関係を強化した。新年には、初めて子ども企画による交流のボーリング大会を行った(小学生以上の児童全員参加)

幼児期の社会体験を増やすためにノーマンホーム(学齢未満の園内保育所)の支援を充実させ、子どもたちの外出を多く計画した。

長期休暇等に「家庭生活体験事業」を行い、家庭生活の経験の少ない児童に対して、里親さん宅、職員宅への外泊体験を実施した。

*家庭生活体験事業 (里親; 延べ33泊 8名、職員宅 6泊 4名利用)

里親会有志にリービングケア(園を巣立つ前の支援)推進について協力を要請した。またNPO法人エンジェルサポートの支援を受けて、就職前の3名のリービングケアと就職支度を行うことが出来た。

小学4年生以上の希望者には入部を奨励してきた。部活希望者の大部分が希望する部活で年度末まで元気に取り組むことができた。

*入部者(小学生8名、中学生10名、高校生5名 合計23名)

(8) ボランティアとの連携

子どもたちの情操面の育ちや社会性の涵養を目標に、ボランティアの確保を図り、日々多くのボランティア活動が展開されている。

神水教会との連携が深まり、8月27日(土)にボランティア感謝の集いを神水教会学校と共催で行い、ボランティアさんへの感謝の気持ちを伝えることができた。また、毎週日曜日の教会学校と月に1回の中高校生会に多くの子どもが参加し、宗教心を育くむと共に学びと交流ができた。また、教会の全面的な支援により、高校3年男児をJELA(日本福音ルーテル社団)主催のアメリカワークキャンプに派遣することができた。11月の神水教会バザーへの協力を行った。

(9) 教育機関との連携

年度初めには、幼稚園、小中学校と連絡会を開催。社会的養護にある子どもへの理解を深めていただき情報を共有する場としている。各教育機関との連携は良好に保たれている。子どもの支援については各担任や部活動顧問と連絡を取り、情報共有と支援の充実に取り組んでいる。

28年度から神水幼稚園に年少児から入園させることになった。幼稚園との課題共有ができ効果的な支援ができています。

(10) 自立への支援、性・生教育の実施

全児童に対して、長期休暇中に外部教育専門家と職員による性教育を実施した。

28年度に新しく「性・生教育委員会」(クローバーの会)を立ち上げた。また、NPO法人エンジェルサポートの支援で高校を卒業して自立する3名の児童に対してのリビングケアも実現した。

(11) 学力向上と進路保障

中学生で希望する児童には、学力向上と高校入試対策のため、学習塾を利用させた。

(中1;1名、中2;1名、中3;5名)

公立高校に1名、私立高校に4名合格することができた。

就職自立の児童3名が、普通自動車免許を取得することができた。

(12) 研修・見学・実習受入

県内外から、民生委員児童委員協議会、県外児童養護施設、研究団体、養成校など多くの団体と個人が、見学・研修・実習のために来園した。社会的養護への認知を高めると共に、福祉教育や後継者育成について貢献することができた。特に震災後の支援や調査についての訪問が多かった。

(13) 子育て支援短期利用事業等の活用

震災があったことも含めニーズが高く、熊本市内を中心に多くの利用があった。基本的に受入については特別な事情がない限りは拒否をしないことにし、各ホーム職員の協力もあり以下の利用が可能になった。また就学を保障するために送迎も実施した。

*ショートステイ(延べ129名 226泊)

*トワイライトステイ(2名 10日) *夕方から夜までの預かり、または日祭日の一日預かり

*里親レスパイトケア(2名 4泊)

2016(平成 28)年度 慈愛園子供ホーム 年間行事報告書

月	定例行事、支援関係	教育関連 PTA 行事	実習・訪問 ボランティア	養護協議会行事 研修関係	地域行事・教会・BS
4	アンディホーム開所式(1) 進級式・進級祝(2) 法人辞令交付式(4) ソフトバンク招待(6) 熊本地震(14,16)	入学式(砂取 12・出水・湖東 11) 高校入学式、幼稚園入園式(9) 震災のため休校(～5/8,9)	老人ホームから新入学児プレゼント 全セン同盟雑巾寄贈(1)	臨時施設長会(26)	第1回町内運営委員会(14) 8町内総会(28)
5	子どもの日バーベキュー(5)	湖東・出水体育祭(21) 砂取小運動会(28) 湖東中 PTA 総会・部活動総会(26) 学校検診	老人ホームから子どもの日訪問(5) 実習オリエンテーション①(8) 厚生労働大臣来園(22) 積文館書店来園(28)	ビジネスマナー研修(12～13) SBI 研修会(14～16) 熊本市社会福祉連合会総会(19) 第1回養護協議会施設長会(19) 法人新任職員研修会(19)	青少協役員会(23) 校区社協総会(27)
6	第1回定期健康診断 第1回苦情第三者委員会(26) きっず Vol.44 発行	湖東中教育キャンプ(11～13) 幼稚園連絡会(27) 砂取小いじめ対策委員会(23)	朗読三昧(12) 福岡市南区民生委員見学(16) 九州魂(氣志團)(19) Jリーガー山下氏、マギー審司 鹿南校区民生委員見学(22)	球技大会打合せ(2) 九州児童養護施設職員研究大会 (鹿児島;13～15) 日キ児童福祉連盟研修@別府 28～29	ボーイスカウト県連総会(19) ほっとネット砂取①(9)
7	七夕まつり(2) 親善球技大会(30) Fくんアメリカホームステイ(28～8/9)	砂取小 PTA 総会・部活動総会(1) 砂取小学校連絡会(22) 湖東中学校連絡会(27)	宮崎一心堂書店絵本寄贈(5) オスマン・サンコン氏訪問(15) 宗次徳二さん講演会招待(16) 九州ルーテル学院大学訪問(16) 山都町民生委員見学(19)	第2回養護協議会施設長会(7) 県・市関係行政機関との意見交換会(7) 医療的ケア研修(23～24) 保育士フォローアップ研修(28) 施設親善球技大会(30)	教会学校早天礼拝(17) 水前寺公園交番連絡協議会(21) ボーマン氏送別会(23) 青少協役員会(25)
8	東南ロータリークラブ交流会(4) マグナLC エミナース招待(9) 児童相談所訪問調査(3,4,9,17) 性教育(27) 夏期ホームビジット(10～15) ボランティア感謝パーティ(27)		CAP しものせき訪問(6) ピッコロシート招待(17) 工作指導(18) 心魂ミュージカル～SO 招待(21) 中華料理シェフ訪問(22) 岩手県公楽さん訪問(28)	地震ケア講演会(19) るうてる法人会・社会福祉協会研修会(22～24)	砂取復興夏祭り(神水盆踊)(20) 第2回町内運営委員会(26)

月	定例行事、支援関係	教育関連 PTA 行事	実習・訪問 ボランティア	養護協議会行事 研修関係	地域行事・教会・BS
9	第 32 回遊友小子老デー(22) 福岡県野球交流大会(24) ロアッソ招待(25)		石井記念有隣園(7) 近代経営ボランティア(10)	南区要対協実務者会議(2) 西日本養護施設職員セミナー(13~15;北九州) 全国経営者協議会熊本大会(14~15) 熊性研研修会(17) 里親サロン(慈愛園担当)(22) 震災後ストレスケア研修(25)	ほっとネット砂取②(8) 青少協役員会(8)
10	第 26 回ふれあい昼食会(19) 親善秋季スポーツ大会(23) 第3回苦情第三者委員会(30) 第 2 回定期健康診断 ノーマンいもほり遠足 ロアッソ招待(30)	神水幼稚園運動会(7) 砂取小修学旅行(18~19) 就学前健診(21) 湖東中集団宿泊訓練(23~24) 新小1、中1就学先指定届	稲刈り招待(命の尊厳を考える会;15) 民医連学習会(18) フィリップモリス環境美化(28)	共同募金伝達式(1) 第4回養協施設長会(6) 養協被措置児童虐待防止研修会(4,21) キリスト教児連施設長会(25~26) 養協初級職員現任訓練(27~28) 行政・施設親善ソフトボール大会(29)	青少協役員会(6) 第3回8町内運営委員会(14) ふれあい昼食会(19) 校区総合防災訓練(23) 神水教会子ども祝福式(30)
11	第三者評価訪問調査(9~10) 七五三お参り(14) 江津湖歩いとランド(20) 東急会映画招待(20) オレンジリボン襷リレー(21)	砂取小友愛セール(6) 湖東中ナイストライ(14~16) 砂取小 100 周年記念式典(22)	別府市民生委員見学(7) 名古屋 Paint・Piano 訪問(13) そば名店会訪問(13) ダスキンボランティア(19) ピュアデンタル C 歯科検診(26) マジックショー訪問(27) 熊大法学部倉田ゼミ(29)	全国児童養護施設長研修会(15~17;東京) 子どもの虹研修(8~10) 養協被措置児童虐待防止研修会(1,7) 九州地区里親研修大会(宮崎)(5~6) 法人管理職研修会(17)	第 19 回江津湖歩いとランド(20) 砂取小友愛セール(6) 青少協役員会(4) 神水教会バザー(3) アドベント前点灯式(26)
12	キッズクリスマス(17) クリスマス祝会(23) スカウトクリスマス(25) 大掃除(26) もちつき(27) おせちづくり(29~31) きっず Vol.45 発刊 冬期HV(29~1/4)	幼稚園クリスマス会 年少(8)、年中(13)、年長(17) 出水中修学旅行(1~3) 湖東中修学旅行(4~6) 砂取小安全対策協議会(15)	復興支援コンサート招待(14) 劇団四季招待(15) トヨタカローラクリスマス(16) 赤い羽根ボーリング大会(17) 整備業組合訪問(23) ホテル日航ケーキ寄付(25) 楽天訪問(17) 市年末訪問(26) 未来の会おもち寄贈	社会的養護を担う施設長研修(1~2) 養護協議会性教育研修会(13) 養護協議会忘年会(13) 児童自立助成基金運用委員会(16) 第5回養協施設長会 行政との懇談会(16)	子ども会クリスマス会(2) 教会学校クリスマス会(16) ほっとネット砂取③(8) シルバーおせち宅配(31)

月	定例行事、支援関係	教育関連 PTA 行事	実習・訪問 ボランティア	養護協議会行事 研修関係	地域行事・教会・BS
1	元旦祝い(1) 市内外出(2～3) 新春ボーリング大会(7) AS プログラム①(22) ダルマの杯フットサル大会(29) 熊本市定例監査(17)	私立高校専願・奨学生入試(24)	エレクtoon演奏茶屋 桃子さん訪問(6) 熊本シニアネットどん どや招待(14) 実習オリエンテーショ ン②(21) 明治安田生命北営業 所訪問(28)		消防出初式・新年 会(8) 砂取おやじの会ど んどや(15) 青少協アウトドアチ ャレンジ(21) 創立 100 周年砂取 会(21) 第3回8町内運営 委員会(27)
2	法律講座(養護協議 会)(5) 第 28 回 表現祭(11) 第 24 回モードパウラス 愛献の集い(11) 高校3年生壮行試合 (12 日) AS プログラム②(14) ホーム自由献立(19) 第4回苦情第三者委員 会(26) 卒園式(26)	私立高校一般入試 (15) 砂取小いじめ対策 委員会(27)	福音寮・至誠学園見 学(4) ベヤニヤホーム見学 (6) ワンパク絵画展(8～ 14) マルコ写真館お楽し み撮影会 実習オリエンテーショ ン③(12)	行政・施設親善ボーリ ング大会(4) 法律講座(養護協議会) (5) シオン園との合同研修(9) 高校3年生壮行試合(12 日) 養護協議会運営委員会 (23)	子ども会お別れ会 (4)
3	第 30 回シルバーひな まつり(2) AS プログラム③修了式 (13) ノーマン遠足(30)	高校卒業式(1) 公立高校入試(8～ 9) 中学校卒業式(11) 幼稚園卒園式(18) 砂取小卒業式(23) 授業参観・PTA 総 会	シルク・ドゥ・ソレイユ 宮海彦さん訪問(2) 大妻女子大見学(15) プロレス招待(31)	養護協議会施設長会(14 ～15)	シルバーひなまつり (2) 第4回8町内運営 委員会(9) ほっとネット砂取④ (10) 青少協役員会反省 会(10) 神水本町ホテル会 総会(25)
その他	職員会議(2回) ホームミーティング(月 1回) 運営委員会(月1回) 代表者会(月1回) 職員礼拝・申送(平日・ 土) ホーム誕生会(子ども の誕生日) 法人施設長連絡会(第 月4金曜)	交通指導当番 防犯活動(月1回) 金峰山少年自然の家(小5) 高校保護者会総会 ・部活動総会 高校修学旅行	新規里親施設実習 教員研修 定例ボランティア 学習ボランティア2グ ループ 英語ボランティア2グ ループ お茶・お花 絵本読み聞かせ ピアノ指導・合唱・絵 画等	里親定例会(第 2,4 水) 子どもの虹 WEB 研修(通 年) 里親サロン・座談会 ハーモニーフェスタ(11/12 ～13) 里親家庭訪問;随時 里親認定前研修 里親スキルアップ研修	教会学校(長期休 暇を除く日曜日) 教会学校中高校生 会(毎月第 4 木) 教会掃除(第1土)